

福井大学(学部入学定員:855人、大学院入学定員:379人)

[取組学部・研究科等: ○工学部(525人), 工学研究科(275人)]

【構想の目的・育成するグローバル人材像】

歴史や文化が異なる地域においても、世界の人々と協働して生き生きとした暮らしづくりに貢献できる高い専門能力と創造力・実践力を有した技術者「Global IMAGINEER」の育成を目的とする。

【構想の概要】

①「実践的グローバル人材育成プログラム」の開発と実施 ②「語学センター」による実践的英語教育の実施 ③国際的通用性を持つ教育課程の実現。この3本柱を核として、工学部・工学研究科を中心に21世紀グローバル社会において高度専門職業人として活躍できる優れた人材を育成し、国際的にも通用する質の高い教育の実施を目指す。

■ 教育課程の国際通用性の向上

○ 教育課程の国際通用性の向上のための取組

米国ブラウン大学FDセンター長による教育評価を受けて、教育に関する全学的な教育改革を推進することを目的として「全学教育改革推進機構」を設置し、教育の質保証や国際通用性の向上のためのカリキュラム改革に着手した。

○ 戦略的な国内外への教育情報の発信

PBLによる英語教育やその成果について、地元新聞社等による取材や国際学会での発表を通し、本学の特色ある取組みとして積極的に国内外に発信している。

○ 事務体制のグローバル化

国際教育フェア等への参加により、世界全域で急速に進む高等教育のグローバル化における動向の把握に努めるほか、海外大学に倣うことで事務体制のグローバル化を進めている。



〈短期海外研修プログラム参加者〉

○ 実践的グローバル人材育成プログラム

平成26年度には、43の短期海外研修プログラムに延べ227名の日本人学生(全学部)が参加した(平成25年度:37研修、参加日本人学生数延べ199名)。本学における履修計画に合わせて、短期海外研修プログラムへの参加や交換留学を計画的かつ段階的に検討できるよう、新入生オリエンテーションにて本学の留学制度についてプレゼンテーションを行っている。

○ 実践的英語教育

平成25年度から実施しているPBL授業(眼鏡デザイン、DNA実験等)による学習および発表を通して英語力を高めることができたため、発展的かつ継続的实施のための検討を行っている。



〈留学生向け事前オリエンテーション〉

○ 国際通用性を持つ教育課程

アメリカ型の13段階の評価制度、GPA制度、より精度の高いナンバリング等の教務システムの検討やLMSの導入(現在、稼働に向けシステムチューニング中)による教育課程・教育支援体制の向上に向けた取り組みを進めている。

■ 語学力を向上させるための入学時から卒業時までの一体的な取組

○ 入試における中等教育段階までの外国語力・留学経験等の適切な評価

学部入試の一部で、英語文献の長文読解による小論文試験の実施、英語による面接試験の実施、さらに平成27年度からTOEFLの一定スコアとセンター試験(外国語)との読み替えを決定するなど、語学力における4技能の評価体制を整えた。

○ 効果的な語学教育及び教育体制

取組学部の工学部に加え、他学部でも少人数・習熟度別クラスでの英語教育やTOEIC受験の実施、医学部生向けに外部講師による講演会を開催することにより、グローバルマインドの醸成や実践的英語学習の意識向上の全学的波及に取り組んでいる。

■ 教員のグローバル教育力の向上

○ 教育体制のグローバル化

本学の英語による学位取得プログラムに参加する留学生の増加、ABEイニシアティブやJDSによる学生の積極的な受入れに伴い、英語開講科目数を増加した。

○ グローバル教育力向上のための取組

ドイツおよび台湾での海外研修プログラム実施時に、担当教員及び本学工学部の技術職員が海外教育事情や技術職員の組織化の状況等について提案及び情報収集を行った。現地教員との意見交換を通じ、現地大学の海外展開や教育事情、現地教員の授業運営等について知識や理解を深めたことで、教職員としての力量形成に役立てることができた。

■ 日本人学生の留学を促進するための環境整備

○ 動機付けや留学を促進するための取組

国際交流・留学ホームページおよび留学OASIS(学術交流協定校の大学パンフレット等の留学関連情報を自由に閲覧できるスペース)を充実させ、学生が留学に関する最新かつ十分な情報を入手できる体制を整えた。

○ 留学中から帰国後にわたるサポート体制

留学生全員を対象に出発前・帰国後オリエンテーションを実施している。また、「Global IMAGINEER」の概念および留学を通して身に付けようとする能力・資質について目標と達成手段を明確化させ、スキル向上に繋がられるよう、肌理細やかに指導している。

卒業・修了時に学生が修得すべき具体的能力

産業界が求める、国際的な事業で活躍できる英語力に基づき、卒業時に修得すべき外国語力スタンダードをTOEIC750点またはTOEFL PBT550点と設定する。英語力に加えて、東アジアまたは東南アジア1カ国の言語において初級程度の到達を目指す。また、グローバル社会において高度専門職業人として活躍できる優れた人材育成を目的として、学生の卒業・修了時には、①創造力、②自己学習力、③問題解決能力、④教養・専門的知識、⑤コミュニケーション能力の修得を目指す。

本構想において実現する達成目標及び実績

全学		達成実績				達成目標	
		2011	2012	2013	2014	2015	2016
外国語力スタンダードを満たす学生数				2人	2人	25人	50人
うち海外留学未経験者数(A)				2人	1人	18人	25人
海外留学経験者数(B)		16人	33人	43人	60人	53人	60人
卒業[予定]者数(C)		555人	556人	548人	534人	555人	555人
比率((A+B)/C)				8.2%	11.4%	12.8%	15.3%
工学部	卒業時の外国語力スタンダード	TOEIC750またはTOEFL PBT550		2人(2)	2人(1)	25人(18)	50人(25)
	海外留学経験者数	16人	33人	43人	60人	53人	60人
	3カ月未満	16人	33人	43人	58人	50人	55人
	3カ月～1年	0人	0人	0人	2人	3人	5人
	1年超	0人	0人	0人	0人	0人	0人
卒業[予定]者数		555人	556人	548人	534人	555人	555人

※1) 学部数が多く、本表が1頁以内に収まらない場合は、「海外留学経験者数」の期間別内訳を省略してもかまわない。

※2) 「外国語力スタンダードを満たす学生数」の学部ごとの記入欄の()内は、外国語力スタンダードを満たす学生数のうち「単位取得を伴う海外留学未経験」の学生数を示す。

※3) 上記の「海外留学経験者数」は、いずれも単位取得を伴う海外留学経験者数であり、単位取得を伴わない海外留学経験者は含まない。